



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月13日

上場会社名 ウェルビー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6556 URL https://www.welbe.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 千賀 貴生 (TEL) 03-6268-9542
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,196	12.2	548	1.9	581	7.3	395	14.5
2021年3月期第1四半期	1,957	—	538	—	541	—	345	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 395百万円(14.5%) 2021年3月期第1四半期 345百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	13.93	13.74
2021年3月期第1四半期	12.41	12.00

(注) 2021年3月期通期決算より連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	5,319	4,785	90.0
2021年3月期	5,473	4,750	86.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 4,785百万円 2021年3月期 4,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	4.70	—	11.30	16.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	8.00	—	8.10	16.10

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,485	11.4	1,126	1.5	1,127	0.9	770	5.7	26.94
通期	9,551	16.8	2,658	30.5	2,659	26.4	1,910	25.4	66.58

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年8月13日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	28,788,000株	2021年3月期	28,383,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	258株	2021年3月期	129株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	28,391,772株	2021年3月期1Q	27,837,134株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、四半期決算発表と同時にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、企業収益や設備投資など持ち直しの動きが続いているものの、個人消費や雇用情勢など一部で弱さが見られるなど、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く障害福祉業界においては、わが国の障害者の総数は964.7万人となり、障害者数全体は増加傾向にあります。障害福祉サービスの利用者も年々増加しており、2018年12月から2019年12月までのサービス利用者数の伸び率は全体で5.8%となっております。このうち、当社グループの主なサービス対象である精神障害者の伸び率は7.6%、障害児の伸び率は10.6%であり、とりわけ高い伸び率となっております（厚生労働省「障害福祉分野の最近の動向」、2020年）。これらの増加傾向は中長期的に継続していくものと考えております。さらに、2021年3月より、民間企業における障害者の法定雇用率が2.2%から2.3%に引き上げられ、障害者雇用に対する高いニーズが見込まれます。

当社グループは、このような事業環境のなか、全国規模で事業所の継続拡大を進めてまいりました。当連結会計年度においては、新たに就労移行支援事業所を3拠点、療育事業所を3拠点開設いたしました結果、当連結会計年度末における当社グループの拠点数は、就労移行支援事業所が83拠点、療育事業所が49拠点となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,196,195千円、営業利益548,993千円、経常利益581,505千円、親会社株主に帰属する四半期純利益395,491千円となりました。

当社グループは、障害福祉サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,015,808千円(前連結会計年度4,080,409千円)で、前連結会計年度末に比べ64,600千円減少しております。主な減少要因は、現金及び預金の減少1,475,959千円等によるものであります。また主な増加要因は、売掛金の増加121,649千円、商品の増加1,200,000千円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は1,304,055千円(前連結会計年度末は1,392,766千円)で、前連結会計年度末に比べ88,710千円減少しております。主な減少要因は、投資その他の資産の減少110,682千円等によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は490,584千円(前連結会計年度末は678,775千円)で、前連結会計年度末に比べ188,191千円減少しております。主な減少要因は、未払法人税等の減少129,081千円等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は43,800千円(前連結会計年度末は44,391千円)で、前連結会計年度末に比べ591千円減少しております。主な減少要因は、長期未払金の減少591千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,785,480千円(前連結会計年度末は4,750,008千円)で、前連結会計年度末に比べ35,471千円増加しております。主な増加要因は、利益剰余金の増加32,240千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期連結業績予想につきましては、新規連結したウェルビーリンク株式会社の収益が新たに業績に寄与することになったため、サマリー情報の「2022年3月期の連結業績予想」のとおり2021年5月14日に発表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(2021年8月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2021年8月13日付で、ウェルビーリンク株式会社は、ウェルビーヘルスケア株式会社に社名変更しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,601,852	1,125,892
売掛金	1,397,705	1,519,354
商品	—	1,200,000
貯蔵品	6,860	7,107
その他	75,528	164,991
貸倒引当金	△1,537	△1,537
流動資産合計	4,080,409	4,015,808
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	614,451	630,968
その他	170,534	176,772
有形固定資産合計	784,986	807,740
無形固定資産		
のれん	78,471	76,229
その他	25,731	27,190
無形固定資産合計	104,202	103,420
投資その他の資産	503,577	392,894
固定資産合計	1,392,766	1,304,055
資産合計	5,473,175	5,319,864
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	28,400	28,400
1年内返済予定の長期借入金	880	—
リース債務	1,276	278
未払金	186,510	90,846
未払法人税等	300,663	171,582
前受金	56	27,000
賞与引当金	74,790	37,994
その他	86,198	134,482
流動負債合計	678,775	490,584
固定負債		
社債	43,800	43,800
長期未払金	591	—
固定負債合計	44,391	43,800
負債合計	723,167	534,384

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,519	337,138
資本剰余金	332,519	334,138
利益剰余金	4,082,130	4,114,371
自己株式	△167	△167
株主資本合計	4,750,002	4,785,480
新株予約権	6	—
純資産合計	4,750,008	4,785,480
負債純資産合計	5,473,175	5,319,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,957,228	2,196,195
売上原価	1,156,331	1,358,048
売上総利益	800,897	838,147
販売費及び一般管理費	262,083	289,154
営業利益	538,814	548,993
営業外収益		
受取利息	174	—
助成金収入	2,494	32,953
その他	1,526	90
営業外収益合計	4,195	33,043
営業外費用		
支払利息	381	125
固定資産除却損	789	404
その他	—	1
営業外費用合計	1,171	531
経常利益	541,838	581,505
特別損失		
減損損失	4,667	—
特別損失合計	4,667	—
税金等調整前四半期純利益	537,170	581,505
法人税、住民税及び事業税	129,977	154,213
法人税等調整額	61,869	31,801
法人税等合計	191,847	186,014
四半期純利益	345,323	395,491
親会社株主に帰属する四半期純利益	345,323	395,491

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	345,323	395,491
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	345,323	395,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345,323	395,491
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、ウエルビーリンク株式会社を連結の範囲に含めておりません。

なお、2021年8月13日付で、ウエルビーリンク株式会社は、ウエルビーヘルスケア株式会社に社名変更しております。

(会計方針の変更)

1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、収益認識会計基準等の適用による当期連結会計年度の損益に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

2. 「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルスの感染拡大の会計上の見積りに与える影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、障害福祉サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	売上高
障害福祉サービス事業	
就労移行支援事業	1,615,413
療育事業	569,458
その他	11,323
顧客との契約から生じる収益	2,196,195
その他の収益	—
外部顧客への売上高	2,196,195

(重要な後発事象)

多額の資金の借入

当社は、2021年7月7日開催の取締役会において、資金の借入について決議いたしました。概要は次のとおりであります。

1. 資金使途：運転資金
2. 借入先：①株式会社みずほ銀行 ②株式会社三井住友銀行
3. 借入金額：①1,000百万円 ②1,000百万円
4. 借入金利：固定金利
5. 借入実行日：2021年7月9日
6. 借入期間：5年間
7. 担保の有無：無担保